

ワイヤレスキット据付説明書

PFA012D619

警告

●配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



●室内機の修理・点検作業に際して「室外ユニット電源ブレーカ」を必ず落とす。
点検・修理にあたって、室内ユニット電源ブレーカがONのままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。



●元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。



注意

●次の場所への据え付けは避ける。
ワイヤレスキットの故障や変形の原因になることがあります。

(1) 直射日光の当たる所	(4) 蛍光灯の近く
(2) 発熱機器の近く	(5) 他の赤外線通信機器の光線が受光部に当たる所
(3) 湿気の多い所・水のかかる所	(6) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう所



① 付属品

次の付属品を確かめてください。

受信部	リモコン用ホルダー	単4乾電池	木ねじ	ワイヤレスリモコン
1個	1個	2個	2個	1個

② 取付前の準備

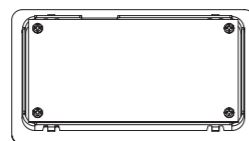
現地設定

受信基板上的スイッチの設定は以下の通りです。

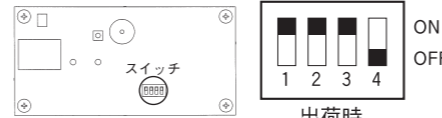
SW	機能	ON	OFF
SW 1	複数台設置時の混信誤動作防止	通常 (1ch)	切換 (2ch)
SW 2	受信部の親子切換	親	子
SW 3	ブザー音の有無	有り	無し
SW 4	停電補償	有効	無効

現地設定の変更方法

- 受信部裏面のねじ (4本) を外し、基板を取り外してください。
- 基板上 (7 SEG 表面側) のスイッチを変更してください。



受信部裏面



スイッチ

出荷時

- SW 1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。
設定変更は、本説明書④受信部の混信防止設定をご覧ください。
※複数台設置時の受信可能範囲は、本説明書⑤受信部のワイヤレスリモコンの操作距離をご覧ください。

複数リモコン使用時の親子設定

1つのグループに対して最大2個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。
その際は2つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上的スイッチを変更し、子機設定とする必要があります。
ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

③ 受信部の取付け

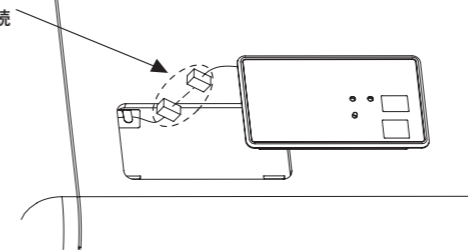
本ワイヤレスキットの受信部は、パネルのカバーと交換することにより取付け可能です。

注意：本体吊り込み前に受信部を取り付けてください。
吊り込み後に取り付ける場合、高所作業となり、転倒などによりケガの恐れがあります。

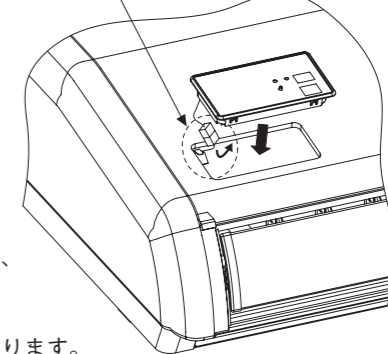
- カバーを取り外し
カバーの溝 (2箇所) に工具を挿し、軽くねじると外れます。

- 配線の接続
受信部の配線とパネル穴部の配線を接続してください。
※注意：配線を固定しているクランプは外さないでください。

コネクタ接続



パネルの下に入れる



- 受信部の取付け
右図の様にコネクタをパネルの下に入れ、受信部の向きに注意し、パネルへ取り付けてください。

注意：コネクタは受信部を取り付ける前に接続してください。
取付後にコネクタを接続する場合、パネルを外す必要があります。

④ ワイヤレスリモコン

●リモコンを下記場所に設置しない。リモコンの故障や変形の原因になることがあります。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| (1) 直射日光の当たる所 | (4) 取付面が発熱・結露する所 |
| (2) 発熱器具の近く | (5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる所 |
| (3) 湿気の多い所・水のかかる所 | (6) 取付面に凹凸がある所 |

リモコンホルダーの据付

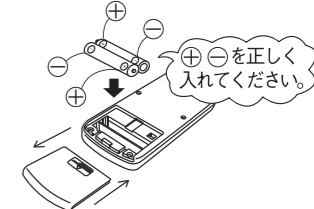
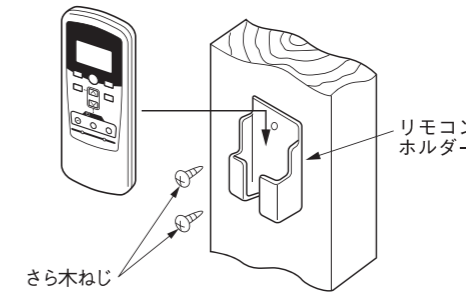
- リモコンホルダーを付属のねじで固定してください。

※ホルダー取付時の注意

- 垂直になるよう調節してください。
- ねじ頭が出ないようにしてください。
- 土壁等へは取り付けしないでください。

電池の入れ方

- 裏ボタンを外します。
- 乾電池を入れます。(単4 2本)
- 裏ボタンを取り付けます。

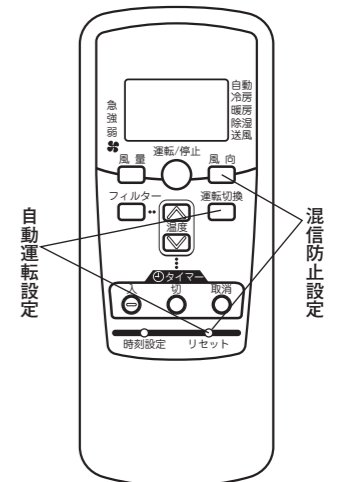


リモコンの設定変更

- 混信防止設定
風向ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、風向ボタンを押しながら電池を投入すると、設定が混信防止設定へ切り換わります。

- 自動運転の設定変更
ビル空調・ガスヒーポンシリーズ (除く冷暖フリーマルチ) は、自動運転ができません。
これらの機種に使用する場合、リモコンを自動運転無効の設定にしてください。
運転切換ボタンを押しながらリセットスイッチを押すか、運転切換ボタンを押しながら電池を投入すると、自動運転が無効となります。

※注意：一度電池を取り外すと初期設定 (工場出荷時設定) へ戻ります。
電池を取り外した時は、再度上記操作を行ってください。



④ ワイヤレスリモコンの続き

〈自動昇降パネル機能への対応方法〉

(3) フィルター自動昇降モード有効

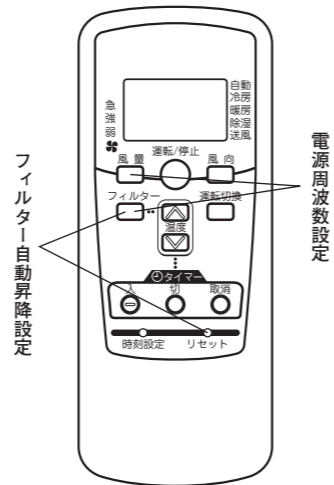
次の①、②いずれかの方法によりリモコン設定をフィルター自動昇降モード有効に変更してください。

- ① **フィルター** ボタンを押しながら **リセット** スイッチを押すか、**フィルター** ボタンを押しながら電池を投入する。
- ② リモコン裏蓋を外し、ジャンパー線を切断する。
設定を実施すると、フィルター自動昇降モード時、ディスプレイに **フィルター** と表示されます。

(4) ダリル降下長さの設定

自動昇降パネルのグリル降下長さの設定は、ワイヤードリモコンを室内機に接続して行ってください。詳細はパネルに同梱されている据付説明書を参照してください。
(初期値は 2.0 m)

※注意：一度設定した後は、室内機のコントローラのマイコンが記憶するため、ワイヤードリモコンを接続し続ける必要はありません。



(5) 電源周波数の設定変更

自動昇降パネル取付け時は、電源周波数の設定をワイヤレスリモコンを用いて必ず行ってください。(初期設定は 60Hz)

- ① **フィルター** ボタンと **風量** ボタンを同時に 3 秒以上押すと周波数設定モードになります。
- ② 設定温度表示部に現在の周波数設定が点滅表示されます。
- ③ **△** ボタンを押すと "60" 表示となり、**▽** ボタンを押すと "50" 表示となります。
- ④ 周波数設定後、**フィルター** ボタンを押すと、周波数が確定され、室内機にデータが送信されます。
約 2 秒間設定された周波数が点灯した後、元の表示に戻ります。

お願い

上記操作方法を必ずお客様に説明してください。
(操作方法はエアコン本体に付属の取扱説明書にも記載してあります)

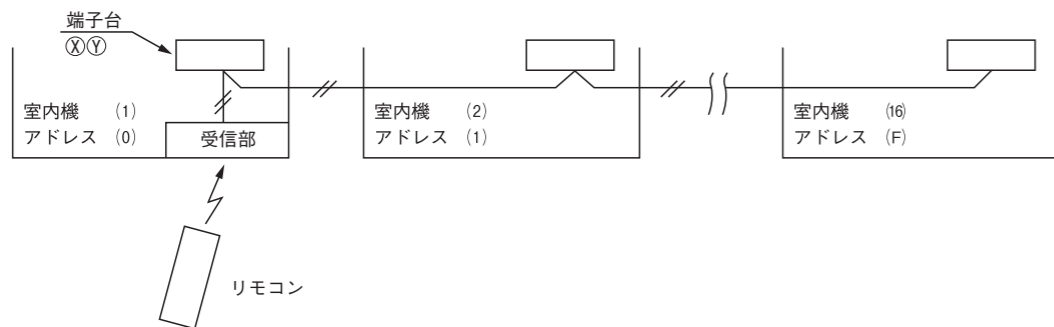
⑤ 受信部

1 リモコンによる複数台室内ユニット制御

- ① 1 つのリモコンで複数台のユニット (最大 16 台) をグループ制御できます。
同一モード、同一室温設定で運転します。
- ② グループ制御用に各室内ユニット間を 2 心のリモコン線にて渡り配線してください。

店舗シリーズの場合

- ③ 室内基板上的ロータリスイッチ SW 2 により、リモコン通信アドレスを重複しないよう「0」～「F」に設定してください。



渡り配線の太さと長さの制限 (最大 600m)	
標準	0.3 mm ² × 100m 以内
	0.5 mm ² × 200m 以内
	0.75mm ² × 300m 以内
	1.25mm ² × 400m 以内
	2.0 mm ² × 600m 以内

ビル空調・ガスヒートポンプシリーズの場合

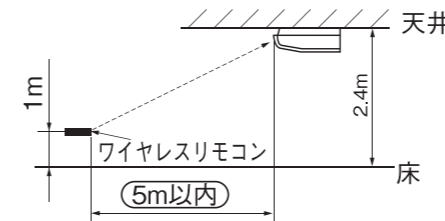
- ④ 室内・室外 No. を手動アドレス設定にてセットしてください。
室内ユニット基板上的ロータリ SW 1、SW 2 により、室内 No. を重複しないように設定してください。

⑤ 受信部の続き

ワイヤレスリモコンの操作距離

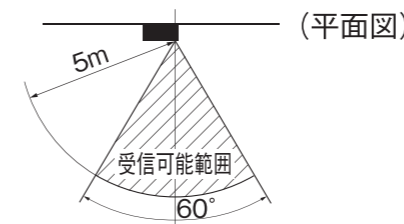
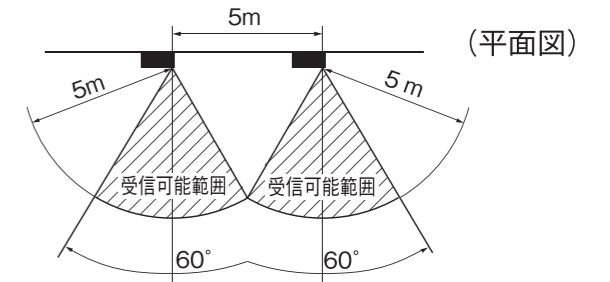
① 標準的な受信距離

〔条件〕 受信部照光度 360 ルクス
(一般事務所でユニット周辺 1m 以内の天井面に照明がない場合)



② 複数台近接設置時の注意

〔条件〕 受信部照光度 360 ルクス
同一動作を防止できるユニット間最小距離は 5m です。



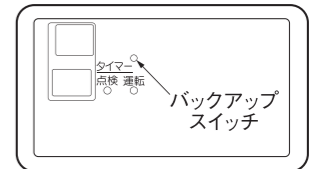
お願い

- リモコンを正しくエアコンの受信部に向けて操作してください。
- 操作距離は、受信部照光度、部屋壁面の反射状態により変化します。
- 受信部に直射日光・照明等の強い光が当たっている場合、操作距離の縮小、また、受信不良が起こる場合があります。

バックアップスイッチ操作

パネル表面受信部にバックアップスイッチを装備しています。ワイヤレスリモコン操作ができない場合 (電池切れ、紛失、故障) に応急的に使用してください。
操作は手で直接操作してください。

- (1) 停止中に押すことにより自動モード (冷専は冷房モード) で運転します。
風量「急」 温度設定「23°C」 ルーバ「水平」
- (2) 運転中に押すことにより「停止」します。
- (3) 自動昇降パネル使用時、2 秒以上押し続けてから離れた場合、自動昇降パネル上昇となります。



冷房試運転操作

- 受信部バックアップスイッチを押しながら、リモコンにて冷房運転を送信してください。
- 試運転時に受信部バックアップスイッチを押すと試運転が解除されます。
- 試運転時、正常に動作しない場合は、室内・室外ユニットに貼り付けの結線銘板の点検表示を参照し、点検してください。

2 桁表示の見方

受信部は 2 桁表示 (7 SEG) を装備しています。

- (1) 表示は電源投入後 1 時間表示します。
- (2) エアコン停止中に、ワイヤレスリモコン「停止」信号送信により 3.5 秒間表示します。
- (3) 上記の表示は、運転開始により消灯します。
- (4) 異常履歴がない場合は、接続台数分のアドレスを表示します。
- (5) 異常履歴が残っている場合は、履歴の内容を表示します。
- (6) 異常履歴は、バックアップスイッチを押しながらワイヤレスリモコン「停止」信号送信によりクリアされます。